MAM-983A　AW61　2023年3月1日発行

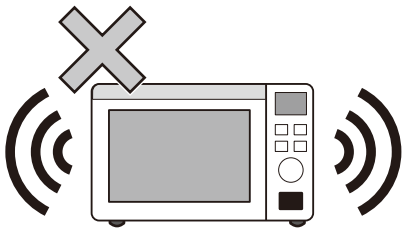
LIXIL FamiLock 電池式 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。
●ハンドルの種類や商品によって、室外側リーダーやサムターンなどの形状が絵と異なる場合がありますが、手順・要領は同じです。

取付け上のお願い

●次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。
・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかるところ。

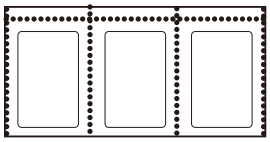
・他の電波式機器から2m以内のところ。
・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から2m以内のところ。



・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
・本製品の使用環境温度範囲は－10℃～50℃、使用周囲湿度範囲は20%～90% RHです。温度が上昇するところ(直射日光・直接暖房が当たるところ・ボイラーの近くなど)や－10℃よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。
●電動ドライバーは使用しないでください。高トルクのため、部品が破損し不具合につながるおそれがあります。

■梱包内容の確認

●部品箱

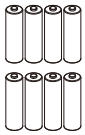


(クリアケース入り)
カードキー３枚

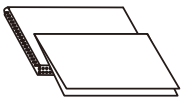
または

タグキー３個

※部品箱リモコン入りの場合のみ同梱
リモコン



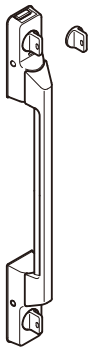
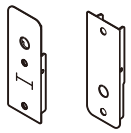
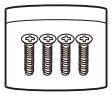
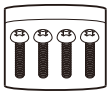
電池８本



取扱い説明書･かんたん設定ガイド

取付け説明書(本書)

●把手セット

外側把手	内側把手		
	 (予備サムターンキー１個)		
台座プレート	皿小ねじ M5×20	薄平小ねじ M4×12	なべ小ねじ M5×30
 (上用)(下用) 各1個	 (台座プレート取付け用) 4本	(内側把手取付け用) 4本	 (シリンダー取付け用) 4本

■別途手配品

・シリンダーセット

(上用)　(下用)
シリンダー
各1個ずつ

オーナーキー
1本

子鍵
4本

工事用キー
(コンストラクションキー)
3本

・シリンダーカバーセット

カギ穴露出タイプ

上シリンダーカバー

下シリンダーカバー

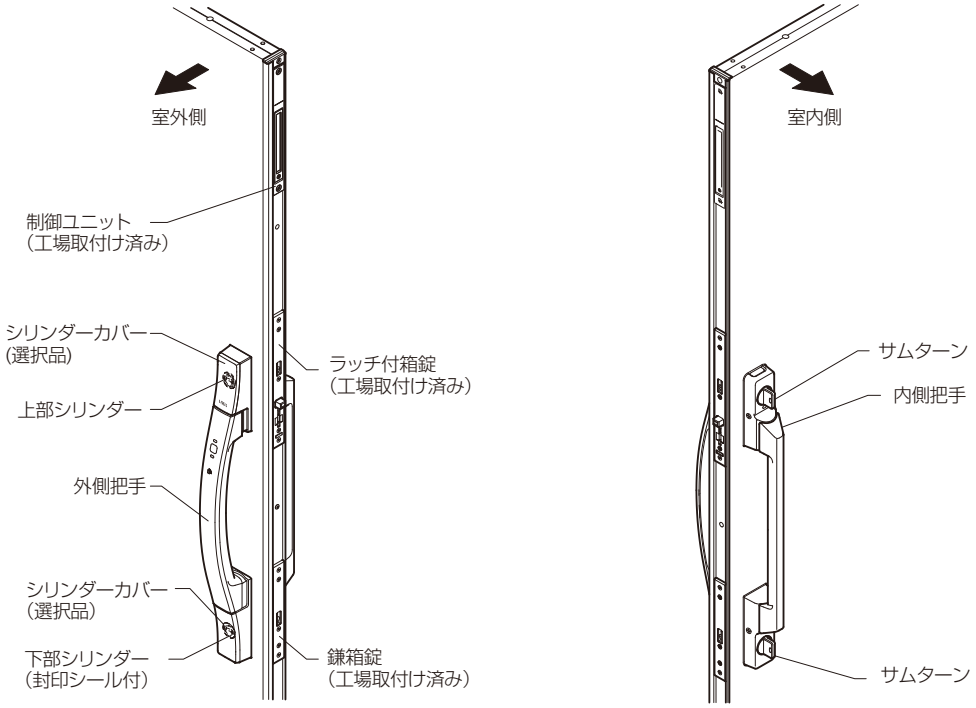
カギ穴カバータイプ

上シリンダーカバー

下シリンダーカバー

※シリンダー部……カギ穴あり／なし選択可能です。
※玄関引戸CEはカギ穴カバータイプのみ

■取付け部品一覧

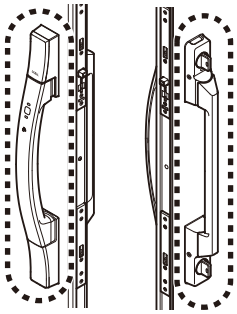


■部品取付け手順

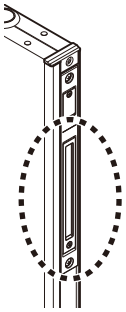
●部品の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。

①シリンダーの取付け

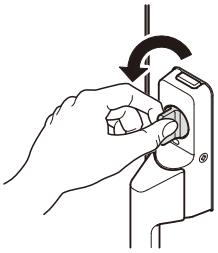
②コネクターの接続、
把手の取付け



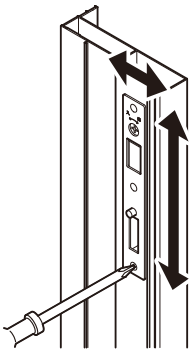
③電池を入れる



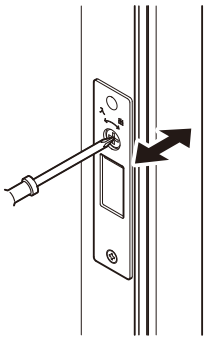
④電池を入れた後の動作確認



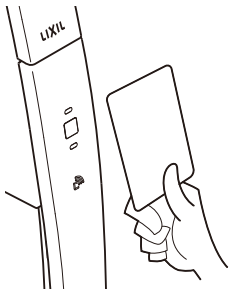
⑤ストライクの調整－１



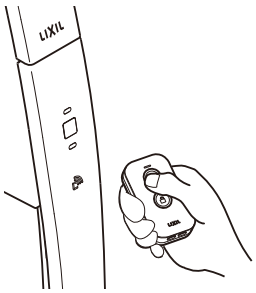
⑥ストライクの調整－２



⑦カードキー、タグキーを
使った動作確認



⑧リモコンを使った動作確認



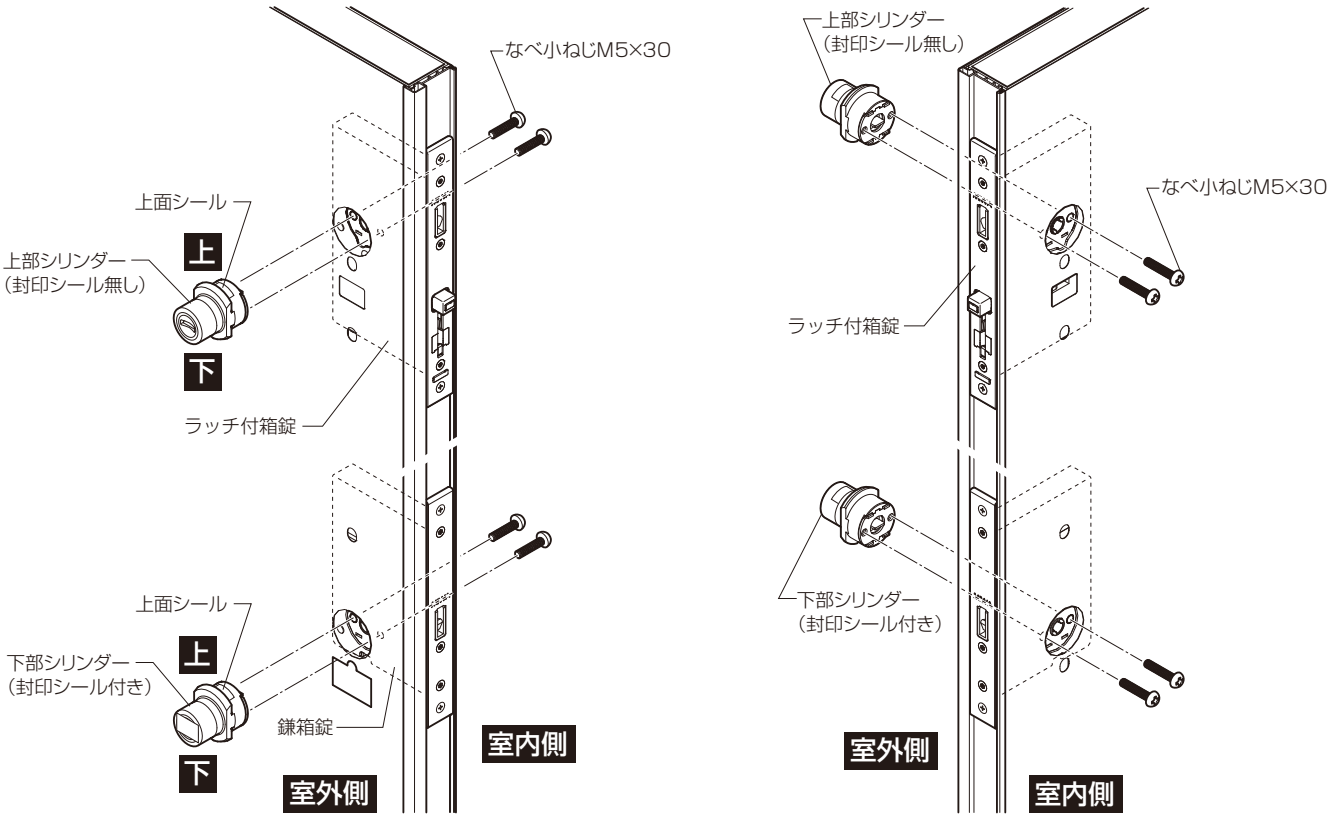
①シリンダーの取付け

①-1 上部シリンダーの取付け

①上部シリンダー(封印シール無し)の「上面」シールを上に向けます。
②シリンダー背面の出っ張り(4ヵ所)を、ラッチ付箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
③室内側から、シリンダーを箱錠になべ小ねじで固定します。

①-2 下部シリンダーの取付け

①下部シリンダー(封印シール付き)の「上面」シールを上に向けます。(封印シールの文字が読めるように上に向けます。)
②シリンダー背面の出っ張り(4ヵ所)を、鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
③室内側から、シリンダーを箱錠になべ小ねじで固定します。

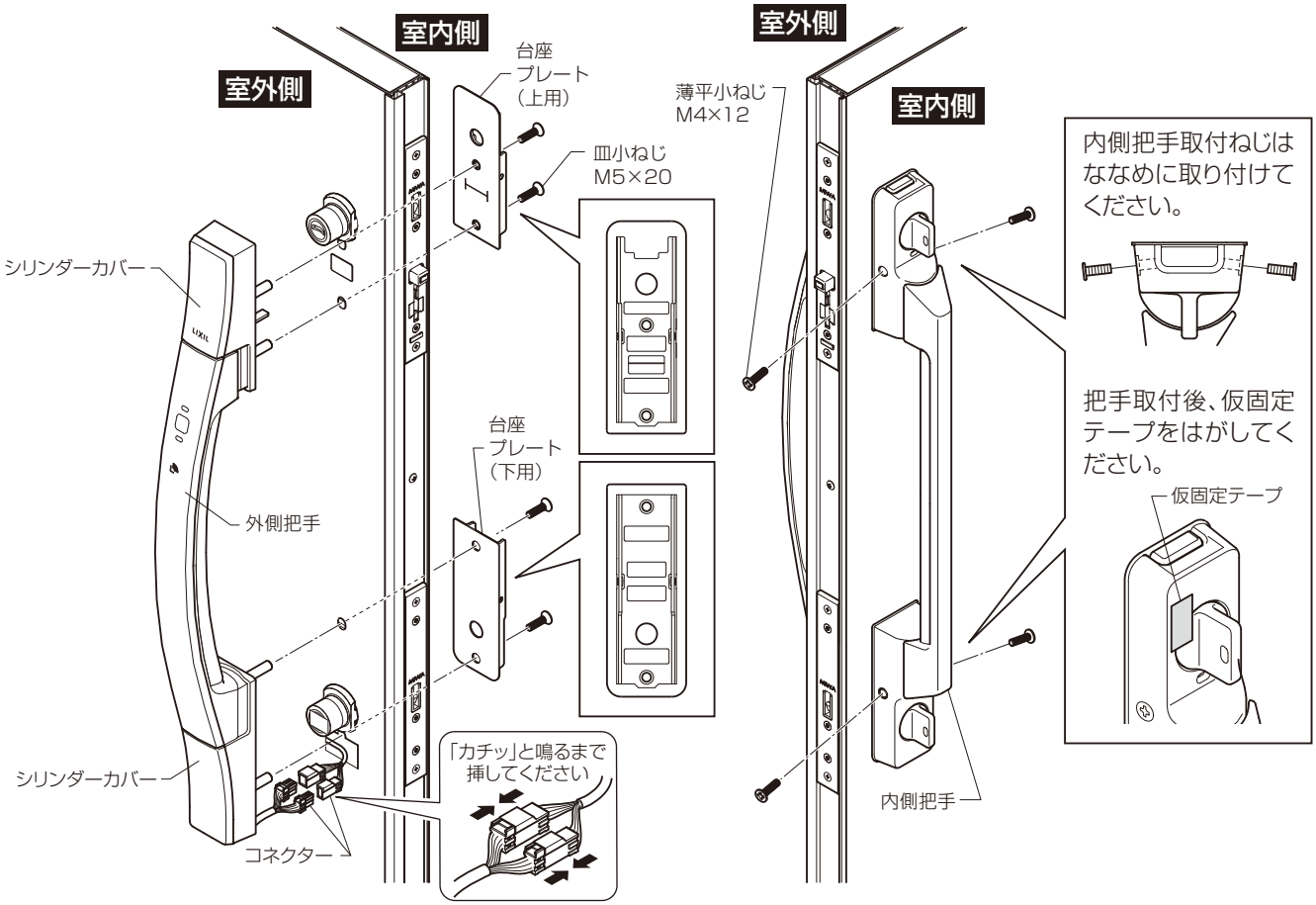


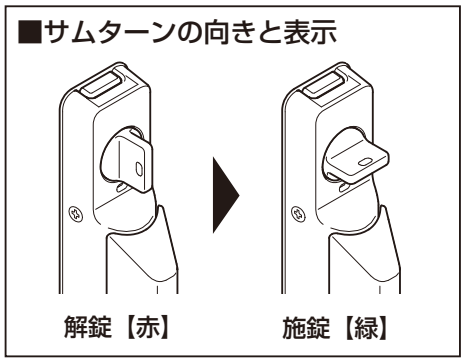
■コンストラクション装置について

●封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
●封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

②コネクターの接続、把手の取付け

①ドア本体の把手取付け加工(下部)からコネクターを引き出します。
②外側把手のコネクターが出ている側を下に向けます。
③コネクターを接続します。
④外側把手を室外側からドアの切欠きにあわせて差込みます。(落下防止のため、⑤で固定するまで手を離さないでください。)
　このとき、余った配線はドア本体内に収納し、把手の取付け時に配線を挟み込まないように十分注意してください。
⑤台座プレートと外側把手を皿小ねじで固定します。
⑥サムターンを縦にした状態で、サムターンの軸を上下箱錠の穴に合わせ、内側把手を台座プレートに差込みます。
⑦内側把手を薄平小ねじで台座プレートに固定します。
⑧外側把手にシリンダーカバーを取付けます。(P5「シリンダーカバーの取付方法」参照)





■シリンダーカバーの取付け方法

●シリンダーカバーはキズ・破損防止のため、施工完了後に取り付けてください。
※シリンダーカバーカギ穴露出タイプの場合は2のみ

1

シリンダーカバーストラップを引出し、先端が細くなるように交差させ、シリンダー台座についている穴に差込んでください。
※取付けの向きに注意してください。

シリンダーカバー
（LIXILマーク付き）

シリンダーカバー
（LIXILマークなし）

シリンダカバー
ストラップ

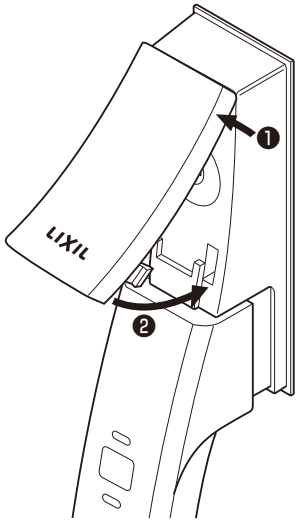
ツメ小

ツメ大

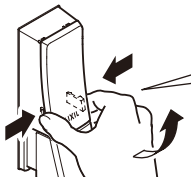
シリンダーカバー裏側

2

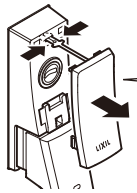
シリンダーカバー先端のツメ小を、先に台座の溝にはめ、（❶）
ツメ大からカチッと音がするまで確実に閉めてください。（❷）



■シリンダーカバーの外し方

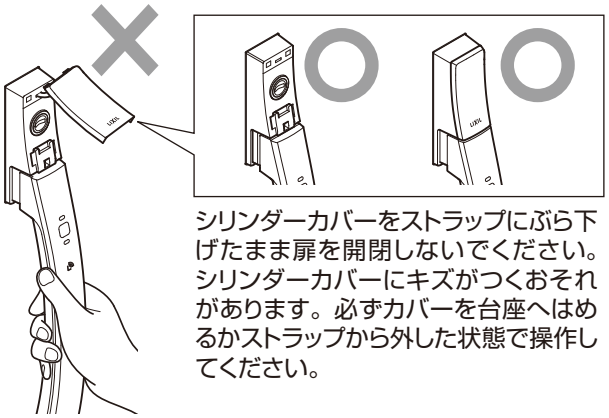


シリンダーカバーの下部（グリップに近い部分）を軽くつまんで引っ張ると外れます。



ストラップの側面を押しながら引き抜いてください。

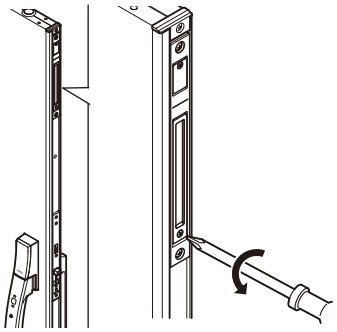
■把手操作時のお願い



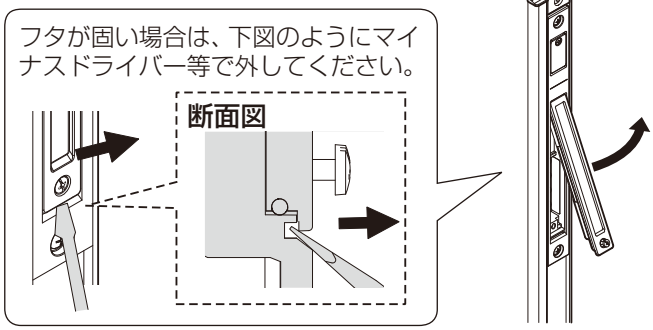
シリンダーカバーをストラップにぶら下げたまま扉を開閉しないでください。シリンダーカバーにキズがつくおそれがあります。必ずカバーを台座へはめるかストラップから外した状態で操作してください。

③電池を入れる

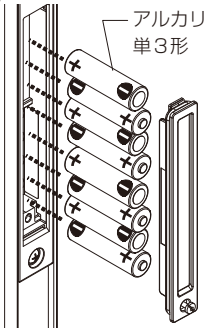
③-1 電池フタのねじをゆるめます。



③-2 電池フタを外します。



③-3 電池を入れます。



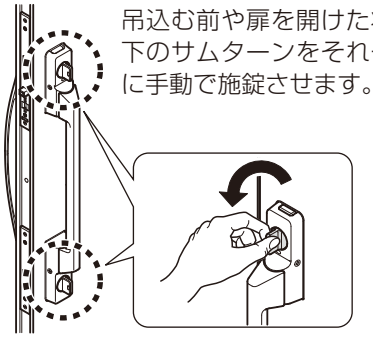
③-4 電池フタを閉めねじを締めます。

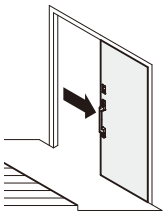
電池フタを閉めた後、ブザー音(ピ音)が鳴る場合は、以下の原因が考えられます。

ブザー音	お知らせ内容
ピーピピ×4 ●●×4	上箱錠のコネクタ接続が出来ていません
ピーピピピ×4 ●●●×4	下箱錠のコネクタ接続が出来ていません
ピーーーー	・電池の入れ間違い ・電池フタが半開きになっている

④電池を入れた後の動作確認

操作	状態	結果
吊込む前や扉を開けた状態で上下のサムターンをそれぞれ順番に手動で施錠させます。	施錠した途端、「ピ音」が5回鳴り、LEDが橙色に点滅する場合	**正常**にドアが開いている事とサムターンが手動で回された事を感知しています。 ※確認後、引渡しまでは電池を抜いて利用ください。
	音が鳴らない場合	**異常**です。下記の点検手順①を参考に確認を行いメンテナンスしてください。





扉を開けた状態で実施

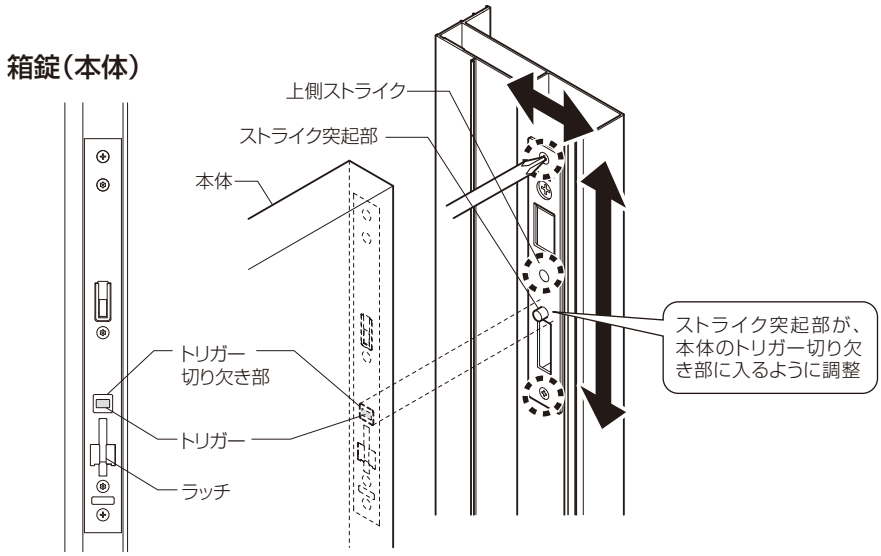
■点検手順①(上記手順で**異常**になった場合のみ点検を実施)

操作	状態	結果
リーダーのボタンを押す。(扉を開けた状態で実施してください。)	LEDが橙色に点滅し、ピ音が5回鳴る。	箱錠のコネクタ が正しく接続できていません。
	何にも起こらない。	電池が正しく入れられていません。

※本確認が終わりましたら工事期間中(工事用キー使用中)は、電池を抜いてご利用ください。自動施錠など、予期しない動作から、閉め出しにあうおそれがあります。

⑤ストライクの調整－1＜上側ストライク＞

●ラッチがかからない場合は、上側ストライクの位置を調整してください。
●ストライクの突起部が箱錠（本体）のトリガー切り欠き部に入るように調整してください。



⑥ストライクの調整－2＜上側ストライク、下側ストライク＞

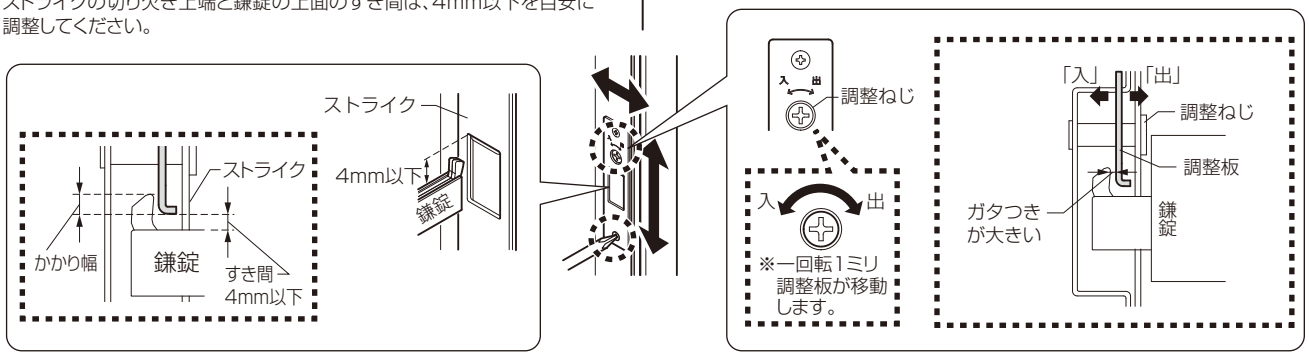
●次の①～④の確認を行い、ストライクの調整を実施してください。
①ラッチがかかった状態でカギがスムーズにかかるか(ストライクと接触しないか)
②鎌錠とストライクのかかり幅が十分確保できているか
③エントリー仕様の場合は電動で施解錠できるか
④施錠した状態でラッチを解除した際の開方向のガタツキが大きくないか (気密材にすき間ができないか)

■カギがスムーズにかからない、鎌錠のかかり幅が少ない場合

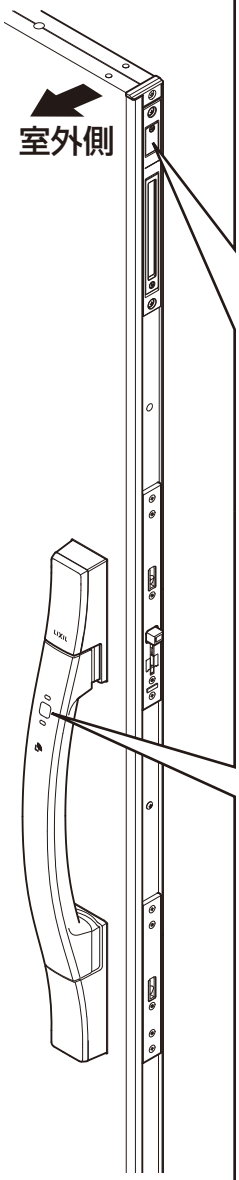
ストライクの取付けねじをゆるめ上下、室内外の位置を調整してください。
ストライクの切り欠き上端と鎌錠の上面のすき間は、4mm以下を目安に調整してください。

■開方向のガタツキが大きい場合

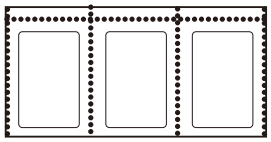
ストライクの調整ねじを回し調整板の位置を調整してください。



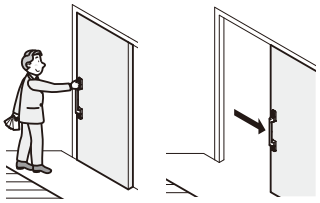
⑦カードキー、タグキーを使った動作確認



1 **同梱のカードキー3枚またはタグキー3個は未登録です。（以下、「タグキー」は省略）**
作動確認を行う際はクリアケースに入れたまま登録を実施してください。

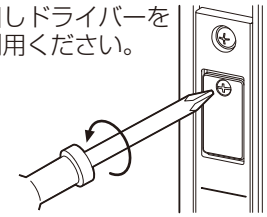


解錠し、ドアを開けます。
※登録終了まで開けたままにしてください。



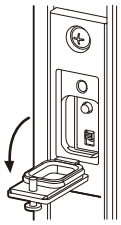
2 フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。



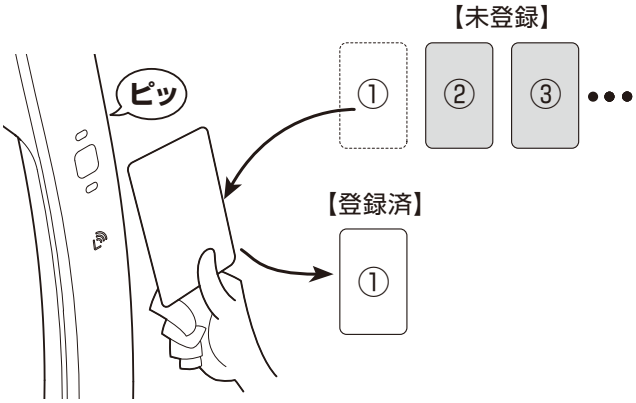
約10回まわします。

フタを外します。



登録ボタンを1秒押し、離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

3 カードキー①、②、③…を順番に マークにかざし登録します。登録の都度、登録済み枚数分だけピッ音が鳴ります。（例：1枚目「ピッ」、2枚目「ピッ、ピッ」）※30秒以内に続けて登録してください。

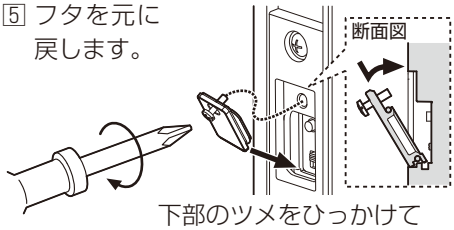


※最大登録枚数は10枚です。

4 約30秒待つと登録モードが終了し、『ピー』音の後、登録枚数分『ピッ』音が鳴ります。*1

*1）登録済みのスマートフォンやリモコンの個数分も合わせて鳴ります。

5 フタを元に戻します。

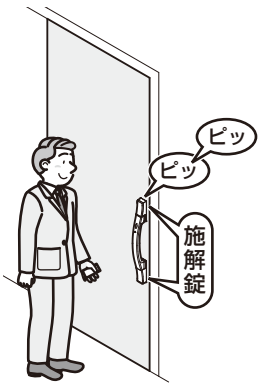


下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

6 外に出てカードキーを使って施解錠の確認を行ってください。

タッチボタンを押し、カードキーを「」マークにかざします。

2つのカギが施解錠することを確認します。



お願い

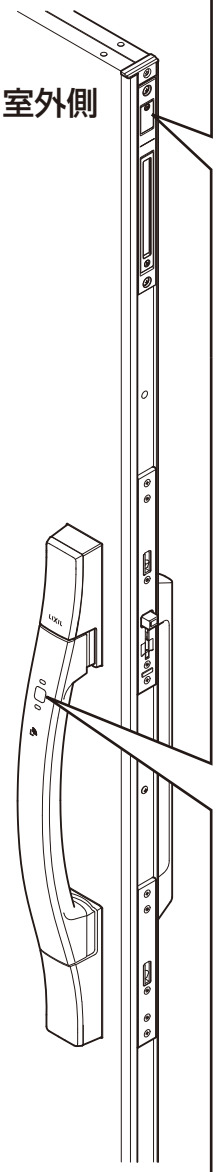
※電気錠操作では上下2ロックになりますがコンスキーで操作できるのは上シリンダーのみになります。この為、締め出しの可能性があるので別の出入り口を確保するか室内に人が居る状態で確認を行ってください。

※工事中は連動施錠機能をONにしないでください。下の錠が施錠されると工事用キーで解錠できなくなります。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、10/11を参考に対処してください。

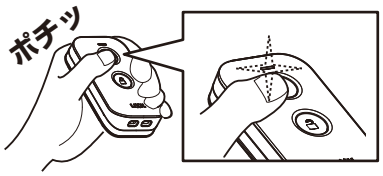
⑧リモコンを使った動作確認

室外側



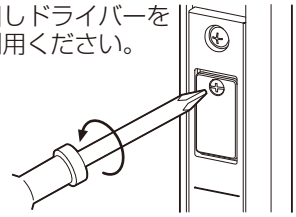
■登録手順

1 リモコンのボタンを押してランプが点灯する（電源がON になっている）事を確認します。
※OFFの場合は、リモコンの電源をONにしてください。
出荷時は電源がOFFになっております。



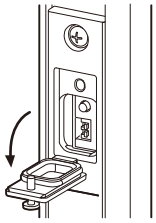
2 フタのねじをゆるめます。

手回しドライバーをご利用ください。

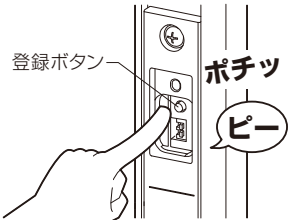


約10回まわします。

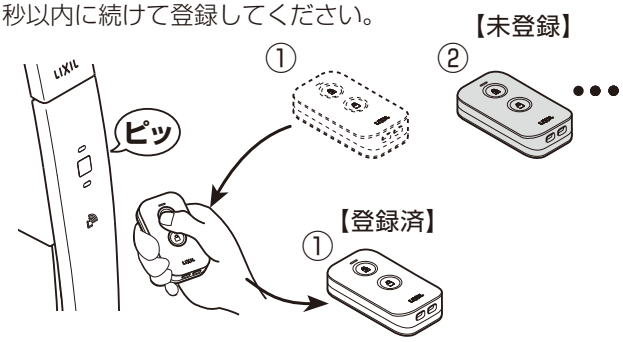
フタを外します。



登録ボタンを1秒押し離すと『ピー』音が鳴り、LEDが点滅し、登録モードに入ります。

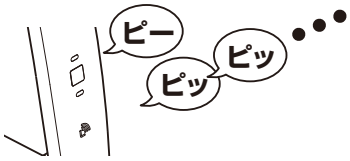


3 リモコン①、②…のボタンを押して登録します。
登録の都度、登録個数分だけピッ音が鳴ります。
（例：1個目「ピッ」、2個目「ピッ、ピッ」）
※ 30 秒以内に続けて登録してください。



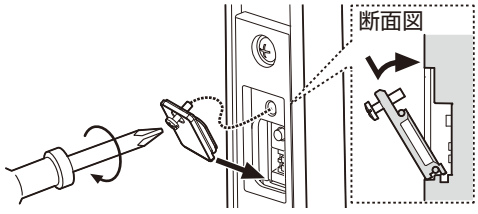
※最大登録個数はスマートフォンと合わせて10個です。
※ 1つのリモコンに最大10 台のドアを登録できます。11台目のドアを登録すると、リモコンからは1台目のドアの登録情報が自動的に削除されます。

4 約 30 秒待つと登録モードが終了し、『ピー』音の後、登録個数分『ピッ』音が鳴ります。＊1



＊1）登録済みのスマートフォンやカードキーの個数分も合わせて鳴ります。

5 フタを元に戻します。

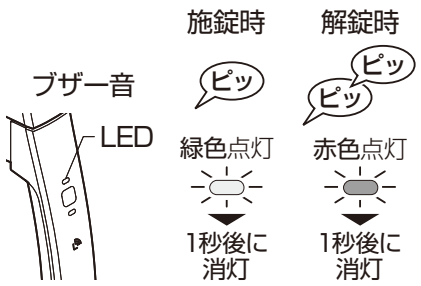


下部のツメをひっかけてからねじをしめてください。

6 外に出てリモコンを使って施解錠の確認を行ってください。リモコンを携帯し、タッチボタンを押します。

2 つのカギが施錠します。

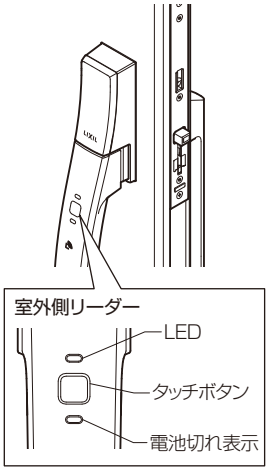
ドアの状態を LED と音でお知らせします。



■お知らせ
本リモコンは Bluetooth® を用いてドア本体と通信しています。リモコンはボタンを押してから接続を開始するためスマートフォンに比べ施解錠動作が若干遅くなりますが故障ではありません。

■ドアのブザー音と表示について

ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ	緑色で点滅（5 秒間）	施錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	赤色で点滅（5 秒間）	解錠中にタッチボタンが押され認証モードに入りました。
	点滅→消灯	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯（1 秒間）	施錠できました。
ピッピッ	赤色で点灯（1 秒間）	解錠できました。
ピー	緑→赤色で交互に点灯繰り返し	登録ボタンが押され登録モードに入りました。
	点灯→消灯	登録モードが終わりました。
—	緑色で点滅（アップデート終了まで）	ファームウェアアップデート状態へ入りました。



ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ	橙色で点滅（1.5 秒間）	ドアが開いた状態で施解錠操作が行われました。	ドアを閉じてください。
		施錠状態で登録ボタンが押されました。	登録の際は解錠状態で行ってください。
		サムターン作動途中でドアが開けられました。	手動でサムターンを回し解錠にしてからドアを閉じてください。
ピーピーピーピーピー	電池切れ表示が点滅（5 秒間）	電池容量が少なくなりました。	新しい電池に交換してください。 電池を入れ直してください。 （ 6/11 参照）
ピ————	電池切れ表示が点灯（5 秒間）	電池が切れました。	
	電池切れ表示が点灯（60 秒間）	電池を入れ間違っています。 電池フタが半開きです。	
ピピ × 8	橙色点滅（2.5 秒間）	上の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	ドアが確実に閉まっていることを確認し再度電気錠操作で動かしてください。それでも同様のブザー音が鳴る場合は、ストライクの調整を行ってください。→（ 7/11 参照）
ピピピ × 6		下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3		上下の錠（デッドボルト）がストライクに接触しています。	
ピーピ × 4	橙色で点灯（5 秒間）	制御ユニット、リーダーの故障。もしくは扉内の配線に異常があります。	部品の交換が必要です。
ピーピピ × 4		上箱錠の取付け不備または故障しています。	箱錠をドアから完全に取外し、再度取付けてください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。 →（ 4/11 参照）
ピーピピピ × 4		下箱錠の取付け不備または故障しています。	
ピーピピ、ピーピピピ × 2		上下箱錠の取付け不備または故障しています。	
ピー × 4		リーダーに一時的なエラーが発生しています。	電池を入れ直して再起動してください。それでも復帰しない場合は部品の交換が必要です。
ピー × 8		制御ユニットに一時的なエラーが発生しています。	
—	橙色で点滅（5 秒間）	玄関キー（カードキーなど）が登録されていません。（出荷時）	カードキーの登録を行ってください。→（ 8/11 参照）
ピッ	緑色で点灯（1 秒間）（動作なし）	玄関キーが登録されていません。（全末梢後 ／施錠時 ）	
	赤色で点灯（1 秒間）（動作なし）	玄関キーが登録されていません。（全末梢後 ／解錠時 ）	

■商品仕様

■ドア側（電池式）

入力電源仕様	DC6V　アルカリ乾電池 単3形 8本（4本の直列接続を2並列で接続）
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	2402～2480MHz ／ 13.56MHz
電界強度	85dBμV/m ／ 112dBμV/m（参考値）
無線局の種別	誘導式読み書き通信設備 2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	－10～50℃（電池を除く）
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	－20～60℃
スマートフォン登録可能数 リモコン登録可能数	計10台（最大同時接続数6台）
カードキー登録可能数	最大10枚

■カードキー

使用環境温度範囲	－10～50℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

■タグキー

使用環境温度範囲	－20～60℃
保存環境温度範囲	－20～60℃

■リモコン

入力電源仕様	DC3V　リチウムコイン電池CR2032 2個
電池寿命	約 1年（常温20℃ 操作：10回/日 ）
出力周波数	2402～2480MHz
電界強度	85dBμV/m（参考）
無線局の種別	2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム
使用環境温度範囲	－10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90%（相対湿度）
保存環境温度範囲	－20～60℃

※本機器は総務省の技術基準に適合しており、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
　改造すると法律により罰せられることがあります。